

クマによる過去最悪の人身被害が発生を受けた政府は、対策パッケージを取りました。専門家が集められる地域から期待と不安の声が出ています。

岩手・秋田など被害多発地域  
今年度の被害が37人(13日時点)で、うち全国最多の5人が亡くなった岩手県。同県矢巾町に住む60代の農業男性は「期待はしたいが、実現できるか不安もある」とおっしゃっています。

パッケージには、「人生で一度は走りたい」と期待と不安の声が出ています。

## 国のクマ対策、期待と不安

「ありがたい」「人集まるか」

口にした。  
死者が4人に上る秋田県。狩猟免許を持つ自治体職員がバメントハンターとして、先進事例を共有する。保護課の担当者は「対応でいる人が増えるのは望ましいが、適任者が集められるのか」と不安もぼつた。  
対策には、クマ捕獲に從事する職員の育成について、専門人材の育成について、先進事例を共有するところも入った。担当者は「他県の良い例も参考にしたい」と力を込めた。

「すぐには役に立たない」とおっしゃった。

活用への出没防止に向けた防護柵整備などが盛り込まれた。男性は農家にとって、女性はいいと思う」と評判です。

北海道獣友会の堀江篤

い。

</